

Title: in⇄out



鈴木 和博
通山人間。受け流さない。受け止める！ちょっと素直になっ
て帰ってきたいです。

● 最近のエントリー

- ☞ [頭の中を飛び出して](#)
(2011.04.25)
- ☞ [とりあえず行きますよ私](#)
(2011.04.24)
- ☞ [本陽さんさん](#)
(2011.04.19)
- ☞ [遺跡の中で](#)
(2011.04.18)

● アーカイブ

- ☞ [2011年09月](#)
- ☞ [2011年08月](#)
- ☞ [2011年07月](#)
- ☞ [2011年06月](#)
- ☞ [2011年05月](#)
- ☞ [2011年04月](#)
- ☞ [2011年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- ☞ [インド](#)
- ☞ [カンボジア](#)
- ☞ [シンガポール](#)
- ☞ [タイ](#)
- ☞ [ネパール](#)
- ☞ [フリー：中国](#)
- ☞ [ベトナム](#)
- ☞ [マレーシア](#)
- ☞ [中国](#)
- ☞ [台湾](#)
- ☞ [日本](#)
- ☞ [韓国](#)

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

in⇄out > 2011年04月 アーカイブ

11.04.25

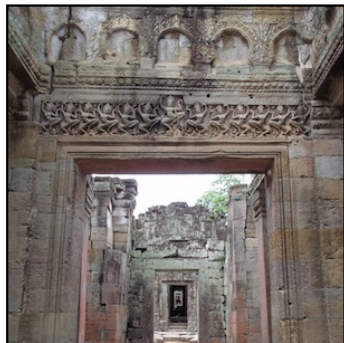
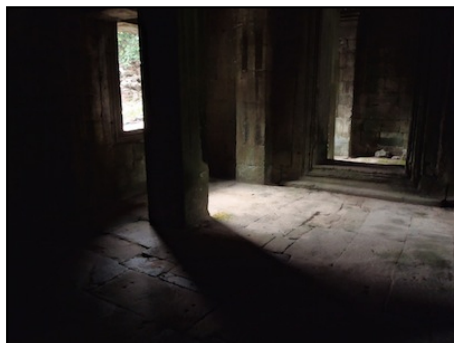
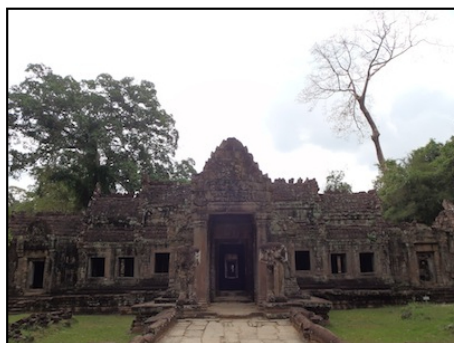
頭の中を飛び出して

[Tweet](#)

[Check](#)

4/22

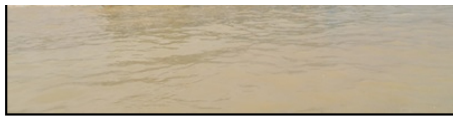
- 行った遺跡一覧
- ★プリア・カン
- ★ニャック・ポアン
- ★タ・ソム
- ★東メボン



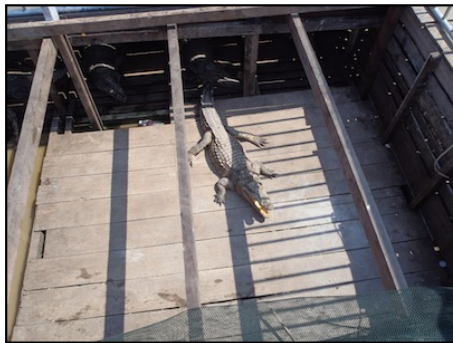


ちなみに今の自分はこんな感じです。
髪が茶色さを増し、肌は焼けました。
体調は問題なく元気にやっております。





地平線まで水。地平線の先もこの水は続いています。
ここは海かって？
いえいえ湖でございます。
トンレサップ湖です。水上集落を見る事ができます。
雨期になるとこの何倍もの面積になります。
多くの淡水魚が生息していて、この魚は貴重な食料となります。
もちろん観光客の食べる魚もここで獲れたものが使われているはずですよ。



トンレサップ湖にはかつて多くのワニがいたようですが、ワニ皮は高く売れるので乱獲され、今ではほとんどいないようです。



トゥクトゥクの運転をしてくれたおじ・・・お見さんとそのご家族
4日間運転してもらいました。
見た目は結構年上に見えますが実際はそうでもないです。
この方をおじさんって呼んじやうときっと清水さんが怒り狂ってしまう・・・っていう感じの年齢です。



クメール料理
名前はわかりません。ごめんなさい。
ちょっとクセがある味ですが、食べられない事はないです。

カテゴリ: [カンボジア](#)

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.25 | [バーマリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[in@out](#) > 2011年04月 アーカイブ

11.04.24

とりあえず行きますよね

[Tweet](#)

[Check](#)

「オニイサンカッコイイネー」
なぜでしょう、言われて逆に傷つきます。
心のこもっていない「カッコイイ」はもう聞き飽きました。
ここでは日本人男性みなカッコイイ、いや全世界の男性なのかも。
そんな素敵なしェムリアップ滞在もあとわずかです。

では、いつものように時を戻してお送りします。

4/19

シハヌークビルからプノンペンにバスで移動。
特に何事もなく終わる。

4/20

プノンペンからシェムリアップにバスで移動。
1時間ほど遅れて到着。まあ、問題ない。

4/21

アンコール遺跡群を巡る。
1日券(20ドル)、3日券(40ドル)、1週間券(60ドル)があり自分の都合に合わせてチケットを買います。
有名どころだけなら1日で充分。
その他も見たいなら2~3日かかります。

とりあえずこの日行った場所一覧

- ★アンコール・ワット
- ★アンコール・トム
- ★バイヨン
- ★ピミアナカス
- ★バプーオン
- ★後のテラス、ライ王のテラス
- ★タ・ケウ
- ★タ・プローム
- ★バンテアイ・クテイ

把握してるのはこれだけ。実は気づいてないだけで他にも見てるのかもしれませんが。





アンコール遺跡群はヒンドゥーと仏教の混ざり合ったもの・・・らしいです。
あまり詳しくないので細かい事は書けません、ごめんなさい。
作った時の王が何教を信奉していたかによって違うみたいです。

行ってみて特に思った事は、物売りの減少とタ・ブロームの変化。
9年前に来た時はもっと物売りの買って買って攻撃が激しかったし、タ・ブロームは木い木の根に覆われていました。
タ・ブロームは木を伐採して遺跡の崩壊を防ぐか、それともそのまま残すかという議論が続けられている遺跡。木を取り除く事が逆に遺跡の崩壊に繋がるという見方もある為難しい問題なようです。

50年前と比べて木々が減ってしまったのが、調べたところよくわがやませぬとした。別の遺跡を訪れた時にそこにいるガイドさんに聞いたら「木が減ってしまったから」と言われたけど、本当にそうなのかは謎です。



楽団による演奏



コロナツダンス



ラーマ・ヤナの一幕



フィッシングダンス



アプサラダンス

夜、アプサラダンスを見に行ってきました。
すごく楽しいのでおすすめです。
ディナーを食べながらダンスを見るのが一般的で、市内数カ所のレストランやホテルで見
る事ができます。
アプサラダンスはカンボジアの宮廷舞踊で古い歴史を持ちます。
ものっすこい指の反り返りが特徴的で常人ではまですぎません。
でもそれがないと踊り子にはなれないので、やはり一握りの人が立てる舞台なのでし
ょう。



Loc Lacというクメール料理（要するにサイコロステーキ）

カテゴリ: [カンボジア](#)

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.24 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

in@out > 2011年04月 アーカイブ

11.04.19

太陽さんさん

[Tweet](#)

[Check](#)

4/16~18

プノンペンからバスで4時間。
カンボジアの南端部にあるシハヌークビル（コンボン・ソム）に滞在しました。

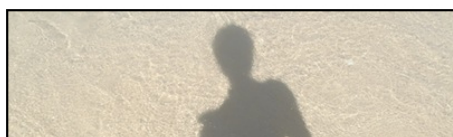
とにかくあつつい！
砂まで焼け石のように熱い。裸足で歩くと絶叫します。
ここでは完璧なまでの半袖半ズボン焼け、そしてサンダル焼けを手に入れました。

シハヌークビルは欧米人によく知られているらしく、来ている外国人のほとんどが欧米人
でした。
アジア人はほとんど見ませんでした。
ビーチリゾートとして開発中ですが、まだまだ地元の人のための海水浴場といった印象を
受けました。

いくつかのビーチがあるのですがそれぞれ離れているので、今回はオーチャイルビーチと
いう人が一番集まるビーチとその隣のオートレスビーチという所に行きました。

バックパッカーも多く、一人で来ている人も結構いました。
長期滞在する人も多くらしく、定年？を迎えた後に移り住む人もいるみたいです。

街の中心部には大きなマーケットがありますが、地元の人や長期滞在の人ばかりです。
のんびり過ごす場所なので、ビーチで飲み物飲んでだらだらして気が向いたら泳いで読書
して・・・っていうのが普通です。
あ、僕がだらだらしてたって意味じゃないよ、あは。

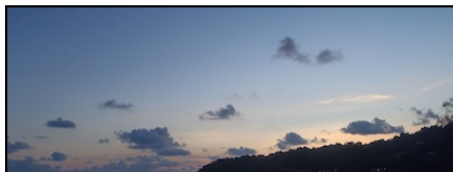




上海から来たおじさん
長めの会話をしたけどほとんど中国語でこり押しされたからなんにもわかりませんでした。
出会った中では数少ないアジアからの旅行者。



フィンランド人のおじさま
こっちで奥さんとレストランを運営されています。
外人さんがレストランを運営しているパターンは多いみたいです。





category: [カンボジア](#)
post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.19 | [バナーリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

in@out > 2011年04月 アーカイブ

11.04.18

静寂の中で

[Tweet](#)

[Check](#)

白米を食べると落ち着きますね。
自分やっぱり日本人！

ブログはカンボジア編に突入です。

では、またまた時を戻してお送りします！

4/14

ベトナムからカンボジアへ陸路で移動。
地図で国と国が続いているって日本では経験できないし実感もできない。
バスで国境越えってすごいなあ。



4/15

実は2度目のカンボジア。でもプノンベンも初。
プノンベンに来たら行こうと思っていた場所へ。

FWで訪問する国々は近現代史が激動の時代であった国が多く、歴史を知る事が今のその国をよりよく知る事に繋がる事だと思います。
日本の高校教育においてさっと流されがちな近現代史。
全部を教える事の時間的な難しさは確かにあるのですが、もっと時間を割いても良い部分だと思います。
過去を知らなければ今の事はわかりません。きっと。
この日は歴史の重要性を知る良い機会になりました。
同時に自分の知識不足にへこみました。





カンボジアにはキリングフィールドと呼ばれる場所が何カ所があります。そのなかでもブンベンにあるものが有名です。

キリングフィールドは一見ただの広い空き地にしか見えませんが、ここには多くの靴掘されていない人骨が埋まっています。

カンボジアは1975年～1979年まで波尔・ポト率いるクメール・ルージュが政治の実権を握っていました。この政党が掲げたのは一言で言えば過剰なまでの共産主義。もちろん音楽には様々な思想や思想、流れがあり一概にクメール・ルージュだから悪かったとは言えないと思います。でも、この時代に多くの人が苦しめられた事実は事実です。

たとは言えないと思います。もし、この時代に多くの人が虐殺された事があるとすれば、年齢性別問わず多くの人が殺され、また、僧侶・知識人なども虐殺の対象となりました。カンボジアの発展が遅れている理由の一つが、このとき多くの知識人を失ってしまったからだとも言われています。

発見された人骨は世界中の専門家によって年齢・性別の鑑定が行われました。慰霊塔は地面から天井まで鉄蓋骨でびっしり埋め尽くされています。鉄蓋も多かったらしく、腐食している鉄蓋骨もありました。

重要なのはここで何人死んだかという数字ではなく、この地で多くの人が死んだという事実。何を思い感じるか、あるいは感じないかは訪れた人次第です。



トゥールスレン収容所（S21）
ポル・ポト政権下で反政治的のみなされた人物を収容した場所。
A～D棟であり、収容者の使ったベッド、顔写真、袖原、当時の様子を描いた絵などが展示されています。
なかでも顔写真の前ではしばらく立ち止まって見入ってしまいました。
彼らは何も喋りません。しかし言葉を覚えて訴えかけてくる何かがある事は、訪れた人なら感じる事だと思います。

英語が読めたらもっと説明を理解できたんだと思うと自分の英語力のなさを呪います。でも、行ってよかった。

11.04.15

あ、邪魔ですか？

[Tweet](#)

[Check](#)

現在カンボジアの首都プノンペンに滞在中です。
カンボジアはお正月中でございます。

今日からブログもカンボジア編スタート！
・・・と書きたい所ですが、ベトナムで一つ書いてない事があるのでそれを書きます。

4/10

ダラット、晴れ。

この日はダラット郊外を巡るツアーに参加。
あ、ちなみにやたらツアーに参加してると思われるでしょうが、一応そういう撮影の仕方が多いだけなので別に遊び回ってるわけじゃないですよ・・・いや、ホントに。

この日も1人参加は僕だけ。
まあいつもの事。
メンバーはマレーシアから来た夫婦、フィンランドから来た夫婦、ベトナム語と英語を操る女性と西洋系のおじさまのカップル(？)、ベトナム人の夫婦でした。
またこのパターンですね。
要って素晴らしいですね、はは。

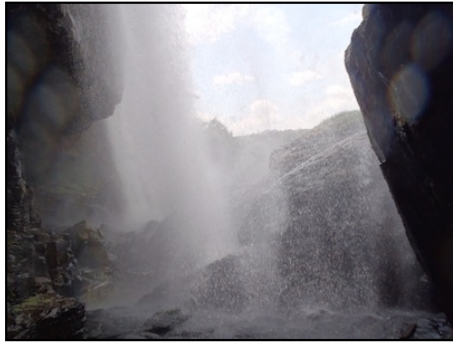


ダラットではシルクの生産もしています。
カンボジアシルクは有名ですが、ベトナムでもシルクの生産作業が見学できるとは思っていませんでした。
観光客の皆さんには結構な人気みたいです。お土産に買っていく人もちらほらいました。





Elephant Waterfall (象の滝)



滝の裏側

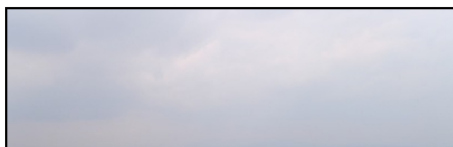
駐車場は滝の上にあり滝の近くまでは歩いていくのですが、この道がなかなか険しい。距離は短いけど道が急勾配で滑りやすくバランスを崩すと本気で怪我します。下手したら命を落とします。突降儀らの前を歩いていた男の人がつまずいて、額を岩にぶつけ出血していました。おそろしや。カメラの心配もしなきゃいけないからさらに大変です。でも、景色はきれいですよ！



ダラット駅



ダラット駅は今では使われていません。観光用に近くの村との間を往復しているだけです。シーズンオフの時は予約があったときのみ運行するみたいです。結婚式の写真を撮る有名なスポットらしく新婚さんには人気みたいです。ベトナムにいるといろいろなところでフライダル写真撮影現場に遭遇します。





ダラット最高峰ランビアン山。

標高は2167m

頂上に行くには麓から歩くか、途中までジープで行きそこから歩くかの2通りの方法があります。

バスや車は途中の駐車場までで、そこからはジープに乗り換えて1960m地点まで行くというのが一般的です。

ツアーもこの方法なので僕が行ったのは頂上ではなく1960m地点までです。

ジープで山道を駆け上がるんですが、かなり速いので楽しいです。

ぜひ、座席ではなく後ろの荷台？に座る事をお勧めします。



今回いろいろ助けてもらった2人

彼らは上述した中のベトナム人夫婦です。

そう、彼氏彼女ではなく夫婦。子どももいます。

二人とも僕より若いです。

二人とも日本に住んでいて男の子の方は日本語が上手です。

子どもが生まれたばかりなので女の子の方の家に帰って来ていて、ついでにダラットまで遊びに来たらしいです。

ご飯とか奢ってもらいました。ありがとう。

いっぱい喋りました。ありがとう。

わざわざダラットまでデートで来てのに二人の時間を奢ってごめん。

本当に仲が良くって羨ましいくらい幸せそうでした。

日本に帰ったらぜひ再会したいです！

Xin cảm ơn!

カテゴリ: [ベトナム](#)

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.15 | [バマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[in@out](#) > 2011年04月アーカイブ

11.04.13

いろいろ考えるよね

[Tweet](#)

[Check](#)

4/12にダラットからホーチミン・シティ（サイゴン）に移動してきました。
反省しております。

ホーチミン・シティは暑い。

ジュースやアイスが恋しくなります。

この暑さでシャキシャキ行動するのは無理があります。

ベトナムの生活リズムがゆったりしてるのも仕方ない事なのかもしれないね。

4/13

カオダイ教総本山とクチトンネルに行ってきました。



カオダイ教総本山

ホーチミン・シティから100km離れたタイニンという場所に総本山はあります。

片道約1時間かかってようやく到着です。

カオダイ教は儒教・道教・仏教・キリスト教・イスラム教の教えを土台にした宗教です。

信者の方は白いオザイを着ています。

行くまでが遠いのにツアーだと滞在時間は40分ほどです。

ちょっと損した気分。



クチトンネルはベトナム戦争の時に南ベトナム解放民族戦線が使用した地下施設です。普通の雑木材の下に全長数百キロメートルにも渡るトンネルが掘られています。見学用のトンネル（20mほど）に実際に入って進む事ができるのですが、中は暗く大人が屈んでやっと進めるほどの広さしかありません。蒸し暑く、人がすれ違うのは不可能なほど狭いです。それでも観光用に少し掘げてあるらしいので実際はもっと狭いでしょう。そのため武装した敵兵は中に侵入しにくいというわけです。隠れ穴は木の葉を載せると本当に地面と一体化して見分けがつかないほど優れた物です。

落とし穴などのトナリもは掛けられていて、落ちると車刺しになります。
撃つべき事はトンネル内で生活できるようになっていたという事です。会議室・手術室・
食堂・武器製造まで全てできるようになっています。
一見の価値はあると思いますよ。とても勉強になります。
あと、屋根に使ってる葉っぱが燃えにくい性質を持っているらしく、ライターで燃やしても火がすぐに消えていました。

ベトナム戦争はメディアに開かれた戦争であったため様々な資料が残っています。
そのためそれと知らなくても、見聞きした事のある写真や事件名が実はベトナム戦争関連
の物である事も多いです。
良くも悪くもメディアの持つ力の大きさが注目されるきっかけとなった戦争であり、リア
ルタイムで戦争の実態が一般人に伝わった戦争です。
ちゃんと歴史の勉強しなきゃなー、と思いました。



戦時中のライフル・・・ではなく

クチトンネルではライフルを打つ事ができます(有料)
観光客がライフルを撃つたびに銃撃が破れそうな音が鳴り響きます。耳をつんざく音って
こういう事なんだなって思いました。当然撃つ人は耳栓するけどね。でも、銃社会と縁遠
い僕には切なさだけが響きます。観光用だし、それで儲ける事に対する文句を言うつもり
はありません。やるもやらないも自由だと思います。なにより、やってみないで批判をす
るのは間違いだと思いません(今回僕はやらなかったけど)。だけど、いわゆる戦争の遺産
として存在する場所でもわざわざライフル場を設ける事には、疑問を感じてしまいます。
難しいよねこういうのって。



タビオカ
正確にはタビオカって言うのはデンプンのことらしいのですが、これがタビオカの素です
ね。
日本人にはドリンクに入ってるタビオカパールがまっ先に想像されると思います。
味はお芋です・・・当たり前ですね。
おいしいですよ！



そんなこんなで明日はカンボジアへ移動です！

カテゴリ: [ベトナム](#)
post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.13 | [ボマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

in@out > 2011年04月アーカイブ

11.04.11

外に出てこそ

[Tweet](#)

[Check](#)

4/10はちゃんと書く事があるんだけど後回しにします。
記事が前後してごめんください。

4/11
ダラット最終日。

この日はツアーに参加するでもなく、タクシーを駆使時には歩いて気の向くままにダラ
ットを巡りました。
ツアーでだいたいの感じは掴めたので繰れそうな所に行ってみる作戦！

結果は・・・うーんって感じですが、それが僕の撮影なのかもしれません。
良くも悪くも、いろいろ考えるきっかけにします。

では、わざわざばかりですが写真をとーぞ。



朝のアンフーン湖



ダラット中心部
引率ブログにもあるように、ダラットは朝と夜が一番賑わいます。
ベトナムの人は朝早くから活動している感じがします。

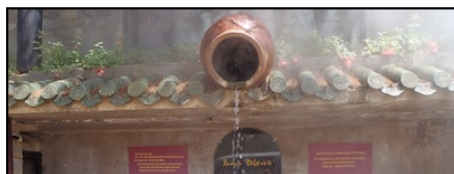


・・・！
ここはあの『ダラット市ガーデン』
前回は閑散としてたけど、

なななんと！

賑わってるー！！

一体どうした事でしょう。
謎は深まるばかりです。





あ、みきさん、ダラットはずっと暗れでしたよ。

カテゴリ: [ベトナム](#)

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.11 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[in@out](#) > 2011年04月 アーカイブ

イツ・ア・スモールワールド

[Tweet](#)

[Check](#)

夜になると外(隣のホテル?)からこのメロディーが流れてきます。
やはり有名なんですね。

4/9

ダラット市内を巡るツアーに参加。

参加者・・・僕を入れて9人。

他の8人は全員ベトナム人・・・。

しかも全部カップル。っていうかたぶん夫婦。

たださえ1人参加でアウェーなのにこの仕打ちですがどうですか。

ダラットはやはりカップルに人気なのだと思います。

ガイドさんは一応英語喋ってくれたけど聞き取りにくいしよくわからないから集合時間だけ教えてもらって説明は省いてもらいました。

ちなみに、現地ツアーで9人っていうのは別に少なくないです。普通ですね。

ダラットは小さな街ですが起伏が激しいので観光するとなるとバイクが車がないと無理です。

バイクやタクシーをチャーターするのもありだけど、ツアーの方が断然安く済むのよほど時間に拘束されたくない限りはツアーの方が便利だと思います。

ではでは、写真と説明をどーぞ！



バオダイの別荘

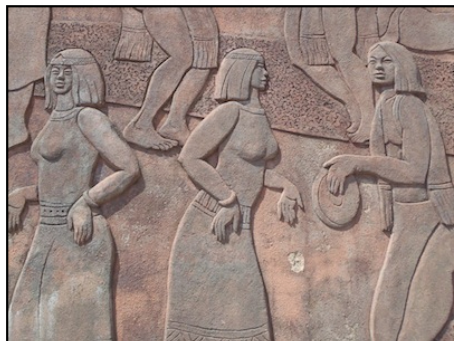
阮朝最後の皇帝の別荘です。

バオダイ氏は太平洋戦争末期の日本と少し関わりのある人物です。



別荘の中

別荘に入る時に汚れ防止用の布袋を靴にはめます。



こういうのカンボジアにもたくさんありそうですね



竹林禅院
多くの観光客が来ていました。
寺院の規模も大きく敷地も広い。



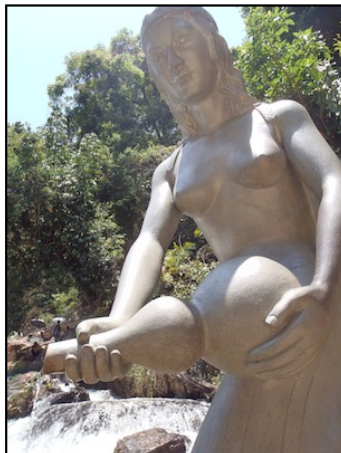
ダタンラ滝



コースター

1台につき最大2人乗れます。
ダタンラ滝は入り口よりかなり下の方にあるので自力で歩いて下るが、このコースターで一気の下るかを選ぶ事になります。
で、楽しそうだし当然コースターを選択（有料）！

これ、想像以上に速いです。
最高40kmでるらしいです。
しかも、自分でブレーキをかける仕組みなので気をつけないと前の人にぶつかります。
ぜひ体験してみてください。
きゃーよりぎゃーに近い悲鳴をあげるようになりますよ、きっと。



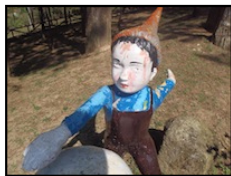
うふふ





同じツアー参加者の人に撮ってもらいました
 ちょっと指写っちゃてるね。
 あ、被写体に対する文句は受け付けません。

ここから一気に『愛の盆地』の写実いきます！！



うん。
 ちょっと楽しみにしてたけどあんまり眠わってなかったよ。
 いろいろ言いたい事はあるけど、とりあえず魚のわさわさ感が気持ち悪かったです。なぜ
 作ったんだ。

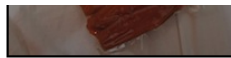


『愛の盆地』からはダティエン湖を望む事ができます



金の仏様
 ダラットの高台にあるお寺（名前は聞き取れませんでした）に御座します。





左/麻婆豆腐（激辛でした。韓国の食べ物より辛かったです。）
 右/ツアー客の人にもらった謎の食べ物（結局よくわかりませんでした。）

殊途周りの幸せオーラに目眩がした一日でした。

カテゴリ: [ベトナム](#)

post by 鈴木和博 | 日時: 2011.04.11 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

in@out > 2011年04月 アーカイブ

11.04.09

なにしてるんですか？

[Tweet](#)

[Check](#)

4/8

ダラット2日目。晴れ。
 ツアーの予約やバスのチケットを手に入れダラットの散策開始。
 街の地図を持っていないのでとりあえず適当に歩く。



なんか民家の方に来た



適当に歩き過ぎか？



なんだお前は



リンソン（靈山）寺
 適当に歩いてたらまさかの発見！
 ダラットにおける仏教信仰の中心です。
 平日の為か中にはあまりいませんでした。

で、やっとダラットの中心部に戻って来たので湖沿いを歩く事に。

そして・・・

幸せそうに肉まんを食べようとしているみきさんに遭遇・・・！
あの至福の表情が撮れなかったのが悔やまれます。

僕はこの日ロケハン、みきさんは休養日（あれ、もしかして撮影日でした？）だったのでその場の流れでぶら〜っと湖を回る事に。
スアンフーン湖という大きな湖なのですが、1周5kmあります。
軽く1周って言いますがてくてく歩くと2時間はかかる道のりです。写真撮りながらだから実際はもっと。



・・・



撮影中

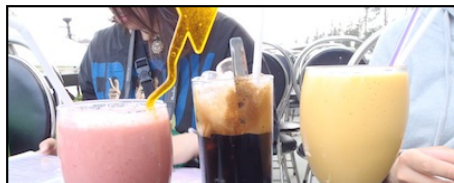
おばさんを撮ってるわけではないですよ、きっと。



わ〜い



湖の途中で森上さんと遭遇！
で、休憩中・・・。





さあ、誰がどれを注文したでしょう？



ゆらゆら

他にもダラット市ガーデンっていう花のテーマパークに寄ったり、謎のお寺で犬に感嘆されたり、道路で砂にいじめられたりと・・・楽しい1日でした。

次のブログは撮影の様子を書きましようかね。
このままじゃまるで僕が遊んでるだけみたいと思われちゃうしね・・・！
たまには真面目な事も書くので今回はこんな感じで。

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.09 | [バナーリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

カテゴリ: [ベトナム](#)

[in@out](#) > 2011年04月 アーカイブ

すずきー！！

[Tweet](#)

[Check](#)

ハノイから撮影場所をダラットに移し、早くも3日が経過しました。
ダラットはいいところです。
でも、想像よりも暑いです。日差しが強い。
日焼け跡がひりひりします。

では、また少し時間を戻してお送りします。

4/7

いろいろあり、みきさんとハノイのノイバイ国際空港からダラット市内まで一緒に移動しました。

いろいろの部分はきくとみきさんが書いてくれると思います。
ダラット市内の移動までわかりやすく書いてくれると思うので！

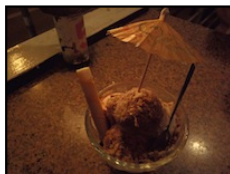
またしても丸投げですいません。

で、夜ご飯をご一緒しました。
・・・と思ったら入ったお店にはドリンクとデザートがありませんでした。

とりあえず注文した飲み物とデザートを食べて（あ、ちなみにデザート頼んだのは僕の方です）
よしっ！次こそご飯食べられるお店に行こう！！と思って歩き出したら・・・

徳田さん・堤さん・森上さんと遭遇！！

ダラット、6期生に大人気ですね、笑
全員同じ日にダラットに到着だって知らなかったので更に驚きました。



ちなみに、ダラットはベトナム国内で人気のハネムーン先です。
どうりで、みきさんの写ってる右側でカップルがいちゃついているわけですね！

11.04.06

世界中で微笑んで

[Tweet](#)

[Check](#)

ども、自分のブログ更新率に驚きを隠せない鈴木です。
このペース、いつまで続く事でしょう。
別に夜寝なわけじゃないですよ、けっして・・・。

宿の従業員さん達は夜になるほど大きな声で会話をします。
そんな宿も今日で最後。
ハノイ最終日。

今日も朝から小雨降り続くハノイ。
傘をさすほどではない、でも降り続く雨。
結果、気づいたら結構濡れている。
風邪を引かない事を祈るばかりです。



タイ湖（西湖）というところ

え？何も写ってないじゃないかって??
天気が悪くてリアルにこんな感じなんです。
某ガイドブック曰く「湖の多いハノイでも最も美しい湖として愛されている」とか。
・・・美しい・・・?
僕の目が腐ってるんですね、まっとう。そうに違いない。
釣りをしてる方々がたくさんいました。



タイ湖にある鎮国寺



鎮国寺にて
なんか紫の色が明るくなっているような・・・

なんだかんだ外には長くいたけどほとんど散歩みたいになって終わってしまいました。
今日はシクロやバイクの人にやたら声をかけられる日でした。
全部歩きで回りましたけどね。
さすがに疲れました。

と、そんなとき目の前にハノイ大教会が・・・！（写真がなくすいません）
中は賑やかな雰囲気。
ちょっと休憩する程度のもりでした、

が、

気づいたら寝てました。

フランダースの犬よろしくそのまま昇天しないでよかったです。
そして、何も盗まれたりしてなくてよかったです。危機感を持とう、うん。

最後に100を超える国で微笑む彼の写真を貼りましょう
なぜか今日は彼の微笑みに癒されました



明日は新たな場所に移動です

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.06 | [バナーリンク](#) | [コメント\(6\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

カテゴリ: [ベトナム](#)

in@out > 2011年04月 アーカイブ

11.04.05

Hanoi

[Tweet](#)

[Check](#)

嫌いな言葉は自分探し。
こんにもは鈴木です。

たまには文章を長めに書いてみようと思います。

4/3からホアンキエム湖の北部エリアにある宿に泊まっています。
チェックインのときやたら「4泊もするの？4泊だよ？4泊？？」って聞かれました。

ちなみにこの宿の受付のお兄さんは若干強面でございます。
そしてやたらツアーを勧められます。サバは？ハロン湾は？うちのツアーは安いよ！・・・って。

確かにハノイ市内に4日は遊べるでしょう。普通の観光だったら1日もあれば終わる範囲なので。

だからこの勧誘はもっともな話。でもちょっと煩わしい。
そんな彼も2日目には日本語で挨拶をしてくれるようになり、3日目にはさすがにツアーの勧誘を諦めてくれました。
お金を落とさない旅人でごめんねー。

そんなハノイの様子をどうぞ。

4/4

ハノイ市内をてくてく。
さすがに昼間は暑く感じるハノイ。
曇天のハノイ。

路地に入るたびに迷子になっていたハノイ。
さすがに迷わず歩く事ができる程度には慣れました。
撮影の足取りも確かになりたいものですな、あは。



遠く伝説の残るホアンキエム湖
その湖に浮かぶゴックソン島にある玉山祠には人懐っこい猫がいます



一柱寺



ホーチミン廟
この日はあいにく休み

ホーチミンはベトナム革命の指導者でありベトナム民主共和国（現ベトナム社会主義共和国成立以前）の初代国家主席・首相。
ベトナムの紙幣には全てホーチミン氏の肖像が描かれています。
ちなみに、ベトナムの歴史には日本も大きく関わっています。ベトナムを植民地としたのは大きく言えばフランス・日本・アメリカ。日本人が知るべきベトナムの歴史はきっと多くあるのだと思います。



街中にはこういったモニュメントが多く見られます



目力のあるアヒルさんボート達

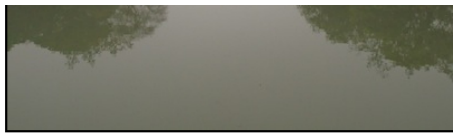
4/5
小雨の降り続くハノイ。
夏以外で雨の時は小雨がずっと降り続く感じが嫌い。
本当は郊外のフォン寺に行きたかったんだけど天気が悪いので断念。今回は縁がなかったって事で。
割り切って休養日としハノイ市内をふらふら。

わりと世界史好きだった僕。
ホアロー収容所に行ってきました。
写真は撮っても良かったっばいけど、撮りませんでした。こういうところは興味のある人が直接行くものだと思うので。
入場料は10000ドン（約40円）だったけど、国際学生証出したら半額になりました。
国際学生証は台湾の花牌の時も役立ってくれました。やったね！

ホアロー収容所はフランスが植民地時代に建設し、フランスの撤退後はベトナム政府が刑務所として利用しました。
中は暗く重苦しい雰囲気が漂います。なぜか重苦しいBGMも流れています。
マネキンを使った集団舞の再現やギロチン台が見る者に当時の様子を想像させます。
そして、マネキンが怖い。

ホアロー収容所の裏にはハノイタワーズというでっかいビルが建っています。
収容所の大部分を壊し建設したのでこんなにミスマッチな2つの建物が隣接しているようです。





森のホアンキエム湖

長くなりましたね。
ハノイ滞在も後1日。
晴れるといいな。

カテゴリ: [ハトナム](#)

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.05 | [バナーリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

in@out > 2011年04月 アーカイブ

11.04.04

Ha Long Bay

[Tweet](#)

[Check](#)

4/2・3

世界遺産ハロン湾に行ってきました。
頃の撮影の場合あまり詳しく書くともFWIに対していろいろと誤解が生じるのでどんな宿泊先とかは割愛しますね、はは。

ハロン湾まではハノイからの日帰りツアーや宿泊付きクルージングツアーが多数あります。

個人で行く場合はバスやタクシーチャーター等の方法があります。

順調にいっても片道3時間、休憩も含めて3時間半かかります。

なので日帰りだとかなりきつい事が予想されます。

とは言ってもハロン湾はクルージングがメインの所なので日帰りでも充分楽しめるかもしれませんが。

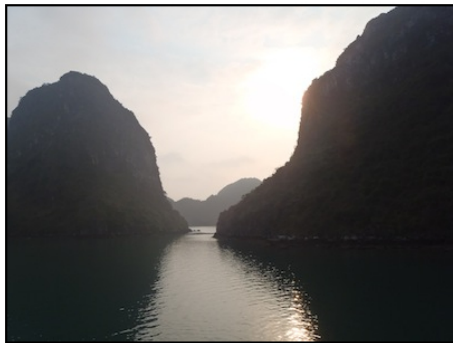
ハロン湾の様子は[4期生高橋先輩のブログ](#)や[5期生岡田先輩のブログ](#)にアップされてるのでそちらをご覧ください。

丸投げごめんなさい。

とりあえず撮影に関して言えば、期待は裏切られるものだしその中でも限られたチャンスをつかまないようにしないと写ってこないという当たり前の事に気づかされました。

あ、でもハロン湾はとっても良い所なのでハノイに来たらぜひ足を伸ばしてみてください！！





なんかこのジュース美味

カテゴリ: [ベトナム](#)

post by 鈴木 和博 | 日時: 2011.04.04 | [バナーリンク](#) | [コメント\(9\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[in@out](#) > 2011年04月 アーカイブ

Bat Trang

[Tweet](#)

[Check](#)

洋服の色落ちが激しいです。
赤い服なんて洗濯の度に軽い流血事故並みに色が抜けて流れていきます。
白い服持って来なくてよかったー。

みなさまこんにちは、鈴木です。

既にベトナム滞在も4日目を迎えております。
早いなあ。

ついにブログもベトナム編です。

ではでは、ちょっと書き戻してお送りします。

4/1
ハノイ指定泊2日目。
この日はハノイ郊外にあるバッチャン（Bat Trang）という陶器の盛んな村に行ってきました。

ハノイ中心部からタクシーで片道30分くらいのところにあります。
ハノイにはホン河（红河）という大きな河が流れています。
バッチャンはその流域にあり古くから海外に陶器の輸出を行っていました。

メジャーな観光地。さぞ賑わっているのだろうと期待していくと・・・
はい、またしても裏切られる期待。
観光客は僕だけなんじゃなからうかってくらい地元の人にしかずれ違わず。
結局2時間ちょっと滞在して見かけたのは欧米系の観光客数人だけでした。

曜日か集まったのが時間か集まったのか。
まあこういう経験も重要だよな、きっと。

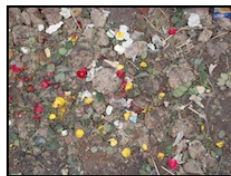
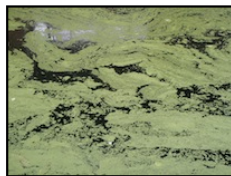
ちなみにバッチャン自体は小さな村なので1時間あれば見て回れます。
ツアーだと工房見学とかもあるみたいです。



レンガみたいなやつを砕く作業



こんな細かくなります



タクシーでハノイまで戻って来てホアンキエム湖へ
この辺は世界中の旅行者が訪れております

ベトナムはバイク天国です。

